北陸情報通信協議会 ICT安心安全部会(第11回会合)を開催



~能登半島地震・奥能登豪雨における取組を通して~



会場の様子



【演題】

能登半島地震・奥能登豪雨に おけるNTT西日本の取り組み

【講師】NTT西日本(株) 北陸支店 ビジネス営業部 本部長 藤本 章夫 氏

	第1四半期			第2四半期		第3四半期		期	第4四半期			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
部会活動				災犯		 ▲ ICT安心安 最 (防災・災 	書対策) 	▲ 高齢者 (11/1	第12回にT女心安全部 第2回にT女心安全部 第2章 (サイバーセキュ)			
		↑ ★				● 與能登被災地見学·意見交換会 (10/24)				サイパーセキュリティ デイズ2026		

北陸情報通信協議会ICT安心安全部会(部会長:四藤 一成(一社)いしかわエネルギーマネジメント協会)は、令和7年9月19日(金)、北陸総合通信局の会議室とオンラインのハイブリッド方式により、第11回会合を開催し、会場6名、オンライン6名の計12名が参加しました。

始めに、NTT西日本(株)北陸支店 ビジネス営業部本部長 藤本章夫氏を講師にお迎えし「能登半島地震・ 奥能登豪雨におけるNTT西日本の取り組み」と題 し、発災当時の通信復旧作業の状況や復興に向けた取り組みを写真や動画を交えてご講演いただきました。



四藤 一成 部会長

全国から参集したNTTグループ支援者等による最大約950名(1日あたり)体制での過酷な通信復旧作業の状況や、発災から5分以内に全関係者をつないで早期に立ち上げた災害対策会議(Web会議形式。毎日24時間継続的に接続)での「情報の可視化」がリアルタイムな情報共有につながり、迅速な復旧等に重要な役割を果たしたとのお話がありました。

また、発災直後より、被災家屋調査や罹災証明書発行を担う「被災者生活再建支援システム」の自治体職員への現地支援の取り組みや、社員100名で約7,000戸の仮設住宅1軒1軒を全軒訪問し被災されたお客様の声や課題をリアルタイムにお聞きし解決する活動を今も継続し続けていること、「出張輪島朝市」支援(ライブ配信による新たな販路創出)などの取り組みについて紹介がありました。

藤本氏は結びに、「今回の災害対応で得られた教訓を、社内・社外問わず、共有 し継承していくことの重要性」を改めて強調されました。質疑応答では、参加者か ら多くの質問が出され、災害時に組織としてどのような対応が必要なのか等の活発 な議論が行われました。

講演に引き続き、令和7年度活動方針に基づき、事務局から当面の具体的な活動内容とスケジュールの提案があり、確認されました。

お問合わせ先: 北陸情報通信協議会 ICT安心安全部会事務局 電話 076-233-4421